

福岡の“いま”を伝える地域経済情報誌

1 2018
月号

ふくおか経済

FUKUOKA
vol.353

PR企画

新春 福岡三社詣

2018年新春
誌上名刺交歓

表紙の人

貫正義

福岡経済同友会代表幹事

70周年機に政府へ提言、「政策の質」向上を

総力特集

地域経済に力強さ さらなる成長へ“前進”

トップ142人に聞く 2018年の戦略



木枯らしにも負けず松林保全活動

西部電気工業



小さい子どもも一生懸命お手伝い



松葉掻きに汗を流す



大型の土のう袋もすぐに一杯に



みんなで枝拾い



肌寒い天気にもかかわらず約300人が参加

海風が強く吹き付ける肌寒い天気にもかかわらず、糸島の海岸で松林の草刈りや松葉掻きを……。西部電気工業(福岡市、熊本敏彦社長)は11月11日、糸島市二丈福井海岸で松林の再生・保全活動を実施した。

松林の清掃・美化活動をするこ

とで白砂青松の松原を再生する「糸島市松林保全アダプト事業」の取り組みを支援するもので、当日は同社グループの社員とその家族、OB会をはじめ糸島市の関係者や「松林保存会」の会員など約300人が参加。木枯らしが吹く中、草刈りや枝拾い、松葉掻きなどに汗を流した。

「自走的な組織作り」をテーマにセミナー

税理士法人アイユーコンサルティング



岩永悠税理士法人アイユーコンサルティング代表(中央)。5周年記念セミナーに駆け付けた司法書士法人みつ葉グループの島田雄左代表(右)と弁護士法人菰田総合法律事務所の菰田泰隆代表弁護士(左)

税理士法人アイユーコンサルティング(福岡市博多区博多駅東2丁目、岩永悠代表)は11月21日、同区博多駅南2丁目のWIT H T H E S T Y L E で初主催のセミナーを開催した。

設立5周年を迎え、財務面だけでなく経営ノウハウを提供する場としてクライアント向けに実施したもの。岩永代表は冒頭のあいさつで「自走的な組織を作るノウハウを学んでいただき、新たな経営術を知るきっかけにしたい」と話した。当日は約70人が参加し、(株)インフィニチャーの新井裕明社長による記念講演では、社員が主体的に問題解決を目指す会議術を紹介し、理解を深めた。



記念講演で登壇した新井裕明インフィニチャー社長



講演ではテーブルごとに代表者が意見を發表した



ディスカッションでは参加者同士が積極的に意見を交わした



懇親会で流れた5周年記念PR映像終了後には拍手が沸き起こった

社名変更、信託会社設立へ

司法書士法人みつ葉グループ

島田 雄左 代表

大野城市出身。1988年2月10日生まれの29歳。中央大学商学部卒。趣味はゴルフ



1月1日、司法書士法人オフィスワングループ（福岡市博多区博多駅前1丁目）は社名をみつ葉グループに変更した。島田雄左代表は「三方よしの未来を実現し、相手に伝える言葉を大切にしたい」と語る。

設立から6年を迎える同グループは、これまで民事信託を使用した生前対策を柱に、約30社の不動産会社のほか金融機関、税理士などの土業と提携し、相談や商業施設内でのセミナーを運営してきた。その中で見つけた社会的課題として、信託

制度を活用したいが、信頼して財産を預けられずに困っている人の存在を挙げ、これらの問題を解決するための信託会社・みつ葉信託の設立を申請し、今年春ごろからの運営開始を見通している。

また、同グループは昨年12月、東京オフィスを渋谷区代々木に拡張移転した。広さが3倍となった拠点の体制強化に今年は力を入れる計画で、1年間で20人のスタッフ増員を計画し、全40人体制から3年間で100人規模を目指すという。人材育成に関しては「相続、信託の知識、スキルを伸ばせるよう導き、将来的にはスタッフ全員がセミナー講師として登壇できるようにしたい」と将来を見据えている。

今後の取り組みとして債務整理の対応スタートのほか、「リーガルテック（法律×IT）」をキーワードに挙げ、契約書の電子化やネット上で確認、アプリで契約書を交わせる仕組み構築のためにIT企業と連携を図るなど、時代の変化に対応する考えを示した。



講演する青柳 JR九州社長

Topic

2017年の締めくくりに青柳JR九州社長が講演 博多経友会

異業種交流会の博多経友会（会長・古川隆福一不動産社長）は12月5日、グランドハイアット福岡で2017年最後の例会を開催した。

「大忘年会」と称した今回の例会には、会員をはじめ歴代講師など約130人が参加。恒例の講演会では青柳俊彦JR九州社長が講師として登壇し、国鉄から民営化、そして現在に至るまでの歩み、また安全やサービス向上を目指した社内での取り組みや今後の事業ビジョンについて説明した。

講演後は食事と酒に舌鼓を打ちながら、集まった会員らが業種を超えた交流を図った。

Topic

芥川賞作家・沼田さん母校で講演

西南学院大学

西南学院大学OBで第157回芥川賞を受賞した作家・沼田真佑さんの講演会が11月14日、同大学チャペルであった。

同大学と活字文化推進会議の主催、読売新聞社主管による「読書教養講座」で登壇したものの、初めて母校での講演となった沼田さんは、聴講者からの「自分の思いを正確に文章に描写する際、気を付けていることは」の質問に、「言葉の選択。苦勞するが楽しんで」と答えた。会場には学生や一般人ら約400人が訪れ、関心深げに耳を傾けていた。



和やかに答える沼田さん